『株式会社　東陽製作所』大分北部中核工業団地へ進出表明!!

大分北部中核工業団地に、自動車部分品、精密機械部品の製造・販売をする「株式会社　東陽製作所」（本社東京都府中市）が進出を表明しました。
２月23日に県庁で立地協定の調印式が行われ、広瀬県知事、近藤市議会議長の立ち会いのもと、永松市長と長谷博彰社長が協定書に署名し、調印しました。

■１００%出資の現地法人『株式会社　東陽九州』を設立、操業開始は平成19年1月予定
大分北部中核工業団地の約８，７６０平方メートルの敷地に、約２，８００平方メートルの工場を建設、現地法人『株式会社　東陽九州』での従業員は４０～４５人を予定しており、うち地元雇用は３０～４０人程度になる予定です。新工場では主に、自動車部分品の製造・販売や各種金属素材に対する加工を行う予定です。

■会社の概要
株式会社東陽製作所は、東京都府中市に本社があり、資本金３，０００万円、従業員数１１０名。自動車部分品や精密機械部品の製造・販売を行っており、売上高は約２３億円です。東京都府中市及び山梨県都留市に工場を持ち、本市に建設される工場が国内３カ所目の工場となります。
また「平成１７年度東京都中小企業ものづくり人材育成大賞」を受賞するなど、今日のハイテク時代に応えるべく、技術の更なる向上・蓄積に積極的に取り組まれている企業です。